

令和4年2月7日
交 流 文 化 部

資料No.11-2

六呂師高原活性化構想 (案)

令和4年 月
福井県・大野市

六呂師高原活性化構想

目次

第1章	はじめに	P. 1
第2章	六呂師高原・奥越エリア（大野市、勝山市）の現状と課題	
1.	六呂師高原・奥越エリアの特徴	P. 2
1. 1.	六呂師高原の特徴	
1. 2.	奥越エリアの特徴	
2.	六呂師高原・奥越エリアの現状	P. 5
2. 1.	六呂師高原の現状	
2. 2.	奥越エリアの現状	
3.	六呂師高原・奥越エリアの課題	P. 7
3. 1.	六呂師高原の課題	
3. 2.	奥越エリアの課題	
第3章	基本方針の設定	
1.	コンセプト	P. 10
2.	目指す姿	P. 10
3.	課題と取組みの方向性	P. 11
第4章	具体的な取組み施策	
1.	六呂師高原の活性化に向けた取組み	P. 13
1. 1.	六呂師高原固有の自然景観の改善	
1. 2.	誘客の柱となる拠点施設の整備・施設のリニューアル	
1. 3.	アウトドア・アクティビティの造成・既存施設の利活用	
2.	道の駅越前おおの荒島の郷を起点にしたアウトドア観光の展開	P. 28
2. 1.	ジャパンエコトラックを中心とした広域観光ルートの造成	
2. 2.	自然資源の価値や楽しみ方を伝えるインストラクター・ガイドの育成	
3.	アウトドアを中心とした誘客のモデルコース	P. 48
第5章	事業の推進計画	
1.	事業目標	P. 54
2.	事業スケジュール	P. 55

第1章 はじめに

策定の背景・目的

本県北東部の内陸部に位置する奥越エリアには大野市と勝山市が含まれ、東部は白山国立公園や奥越高原県立自然公園に指定されており、山や川、湖等の豊富な自然資源を有していることから、サイクリングや登山、キャンプ、スキー等のアウトドア・アクティビティを通して本物の大自然を体感できるエリアです。また、城や寺社仏閣、城下町等の歴史観光資源を有するほか、日本有数の恐竜化石の産出地としても注目を集めています。

この奥越エリアの中央部に位置する六呂師高原は、日本三百名山に選ばれる経ヶ岳（標高1,625m）の南西山麓の標高約400~700mに広がる台地で、スイスのアルプスを想起させる高原景観や日本一綺麗な星空等の資源を有しており、自然景観や自然環境を保全しながら観光活用に取り組む「環境共生」の考えのもと、新たな誘客策を検討することとしています。

本エリアは、北陸新幹線の福井・敦賀開業（令和6年予定）、中部縦貫自動車道の県内全線開通（令和8年予定）に伴い、関東、中部、近畿等からの交通アクセスが大幅に向上することが期待され、来訪者の増加が予想されます。

本エリアの強みである自然資源を活かしたアウトドア観光を推進し、高速交通網の整備効果の最大化と地域の活性化を図るため、「六呂師高原活性化構想」を策定します。

第2章 六呂師高原・奥越エリア（大野市、勝山市）の現状と課題

1. 六呂師高原・奥越エリアの特徴

1. 1. 六呂師高原の特徴

(1) 奥越高原県立自然公園

- 本県唯一の県立自然公園である奥越高原県立自然公園内に位置する六呂師高原は、妻平湿原や池ヶ原湿原等の固有の自然資源を有しており、貴重な生物や四季の草花を観察することができます。

<奥越高原県立自然公園の概要>

指定年月日	昭和 30 年 10 月 21 日
面積	31,039ha
概要	大野市と勝山市にまたがり、白山山系の赤兎山、大長山、取立山、法恩寺山、大舟山等の山々と「日本百名山」荒島岳等を中心とする山岳公園

(2) 県内最大の火山地形・スイスのアルプスを想起させる高原景観

- 六呂師高原は、大野市と勝山市にまたがる経ヶ岳火山からの溶岩や泥流によって形成された高原地形です。経ヶ岳から塚原野にかけては、県内最大の火山地形が現存しています。
- 六呂師高原には、乳牛の飼育等を行う奥越高原牧場が立地していることから、広大な牧草場が広がり、4月から11月頃にかけて行われる牛の放牧期間にはスイスのアルプスを想わせる牧歌的な景観を楽しむことができます。

(3) 日本一綺麗な星空

- 六呂師高原は、環境省・日本環境協会が実施した「全国星空継続観察」において、「日本一綺麗な星空」に認定されました。(平成 17 年)
- 日本一綺麗な星空を鑑賞する星空ハンモック等のイベントを開催しているほか、将来にわたってこの貴重な星空を保護していくため、国際ダークスカイ協会が行う星空保護区（アーバン・ナイトスカイプレイス部門）認定（アジア初）に向けた取組みを進めています。

(4) 良好な交通アクセス環境

- ・ 六呂師高原は、福井市内から約1時間、中部縦貫自動車道大野ICから約15分でアクセスできる立地環境にあります。
- ・ 北陸新幹線の福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の県内全線開通により、県外からの誘客のチャンスがさらに拡大します。

(5) 多様な観光関連施設

- ・ 奥越高原牧場の生乳を使ったスイーツが味わえるミルク工房奥越前、天体観察や自然観察会等の体験プログラムを開催する自然保護センター等、六呂師高原ならではの自然資源を活用した施設が集まっており、四季を通じて高原レジャーを楽しむことができます。
- ・ 近郊には、恐竜博物館や道の駅越前おおの荒島の郷等の誘客力が高い観光施設が立地しており、奥越エリア全体で観光誘客に取り組むことで、一層の誘客力の向上が見込めます。

<六呂師高原・隣接エリアに立地する主な観光関連施設>

施設名称	主な機能	設置者
ミルク工房奥越前	レストラン／乳製品加工体験	福井県
自然保護センター	展示／自然観察会／天体観察会	
奥越高原青少年自然の家	宿泊／研修スペース／キャンプ場	
奥越高原牧場	牧場見学／畜産	
円山公園	芝生広場／ミニ動物園	
トロン温浴施設うらら館	温浴施設／食堂／売店	大野市
サン・スポーツランド	テニスコート（8面）／サッカーグラウンド	
スターランドさかだに	そば打ち／ひまわり畑／体験農園	
六呂師高原の宿	宿泊	民間事業者
農家民宿このは	宿泊	
白山ワイナリー	ワイン生産・販売／施設見学	

(6) アウトドア・アクティビティの拠点

- ・ 日本三百名山に選ばれる経ヶ岳の登山口、ジャパニエコトラック九頭竜川・荒島岳のサイクリングルートにも位置するほか、積雪期にはスノーシュー、クロスカントリーを実施する等、四季を通じたアウトドア・アクティビティの展開ができるフィールドを有しています。
- ・ 今後は、アウトドア・アクティビティを展開する受入体制をさらに強化することで、来訪者の満足度やリピーターの獲得につながることが期待されます。

1. 2. 奥越エリアの特徴

(1) 大自然を体感できる自然環境

- ・ 日本百名山の荒島岳や九頭竜湖、六呂師高原等、本県屈指の大自然を有しており、キャンプ、登山、カヤック、スキー、スノーシューといった多様なアウトドア・アクティビティを楽しむことができます。

(2) 全国に誇る中世の歴史遺産や宗教文化施設

- ・ 越前大野城と碁盤目状に広がるまちなみ、中世宗教都市の歴史を感じる白山平泉寺、宝慶寺等、地域に根付く歴史文化資源を有しています。
- ・ 令和元年に、白山平泉寺や旧勝山城下の街並み景観等を含む文化財が「400年の歴史の扉を開ける旅～石から読み解く中世・近世のまちづくり越前・福井～」として日本遺産に登録されています。

(3) 地域の文化に触れる特産品や郷土料理

- ・ 奥越エリアには、地酒、地場野菜、そば等、豊かな自然資源が育んだ食材や地域に根付く食文化があります。食は常に旅の目的の上位に挙げられ、地域が稼ぐための重要なコンテンツとなっています。

<奥越エリアに立地する主な観光資源>

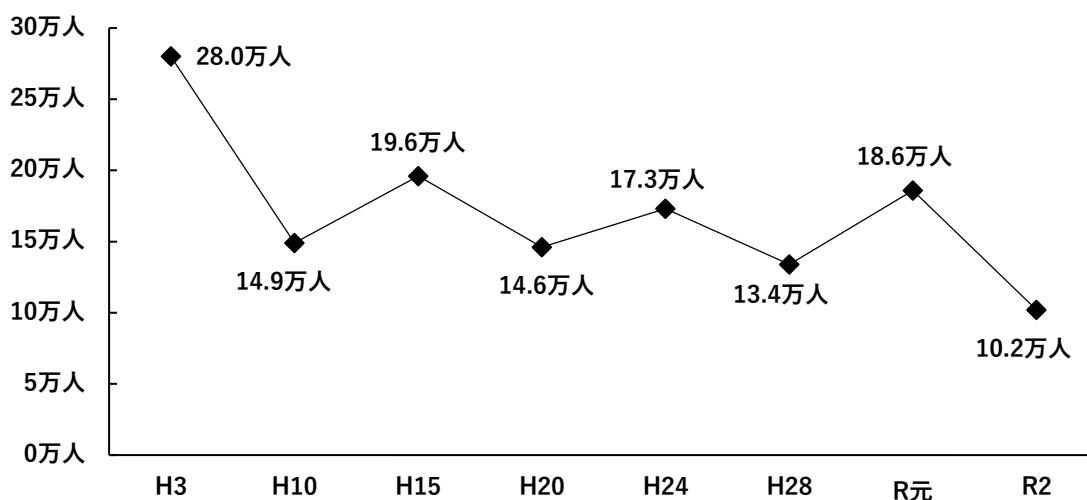
主な観光資源	市町
越前大野城、大野城下町、七間朝市、荒島岳、経ヶ岳、六呂師高原、麻那姫湖青少年旅行村、和泉前坂家族旅行村、和泉スキー場、九頭竜スキー場、九頭竜保養の里、九頭竜湖、化石発掘体験センターHOROSSA!、道の駅九頭竜、道の駅越前おおの荒島の郷、山体崩壊の名残（巨岩・奇岩）、刈込池、宝慶寺	大野市
恐竜博物館、スキージャンプ勝山、ラブリー牧場、道の駅「恐竜溪谷かつやま」、ゆめおーれ勝山、花月楼、勝山城博物館、越前大仏、白山平泉寺、勝山温泉センター「水芭蕉」、奥越高原牧場	勝山市
ジャパンエコトラック九頭竜川・荒島岳	広域

2. 六呂師高原・奥越エリアの現状

2. 1. 六呂師高原の現状

(1) 観光客入込数の経年変化

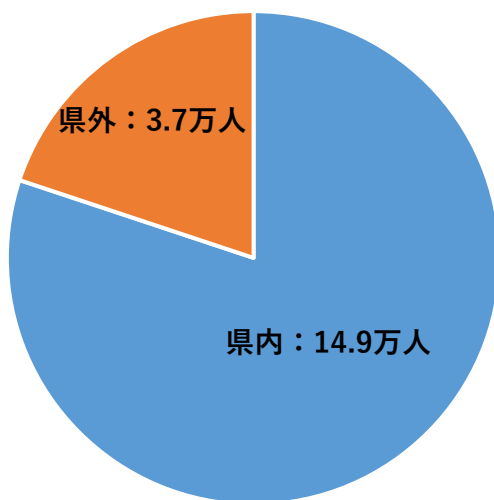
- 近年の観光客入込数は、年間10～18万人程度で推移しています。



<福井県観光客入込数 (推計) (県統計)>

(2) 観光客入込数 県内外の内訳 (令和元年)

- 県内からの観光客が大部分 (約80%) を占めており、今後、中部縦貫自動車道の県内全線開通を見据え、県外からの誘客を推進する施策が必要です。



<福井県観光客入込数 (推計) (県統計)>

※令和2年は新型コロナウイルス感染拡大の
防止措置をとったため、令和元年の数値を使用

(3) 主な観光施設の入込数（令和元年）

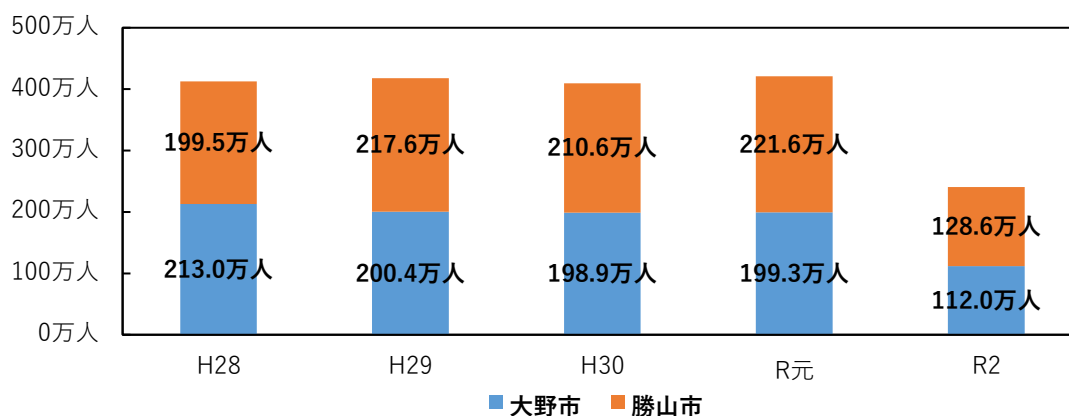
<六呂師高原における主な観光施設の入込数（令和元年）>

施設名	観光客入込数	施設名	観光客入込数
トロン温浴施設うらら館	3.2 万人	自然保護センター	3.0 万人
奥越高原青少年自然の家	2.9 万人	奥越高原牧場	2.7 万人
ミルク工房奥越前	3.3 万人	サン・スポーツランド	0.3 万人

2. 2. 奥越エリアの現状

(1) 観光客入込数の経年変化

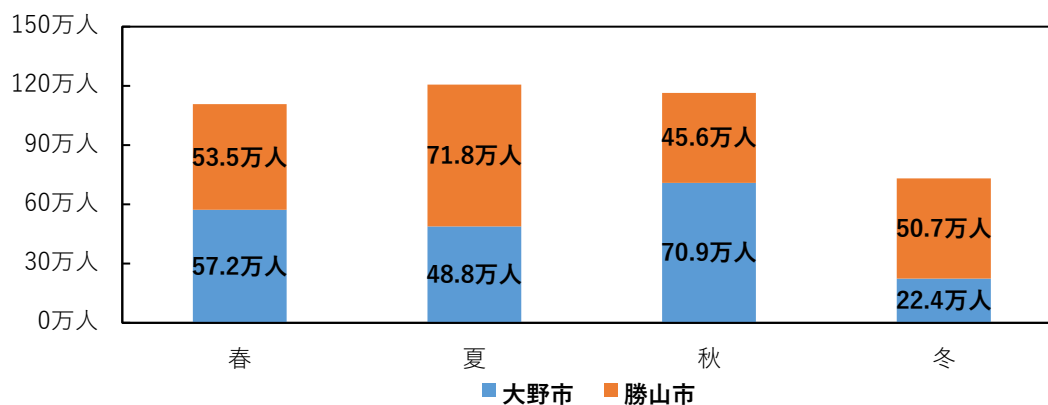
- 奥越エリア全体における近年の観光客入込数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた令和2年を除き、年間400万人強で推移しています。



<福井県観光客入込数（推計）（県統計）>

(2) 季節毎の観光客入込数（令和元年）

- 奥越エリア全体では、夏期の観光客入込数が最も多い状況です。一方、勝山市では、降雪時においても誘客が見込めるスキージャンプ勝山が立地していることから、冬期の観光客入込数が多くなっています。



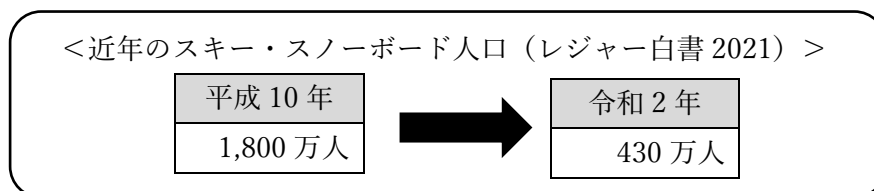
<福井県観光客入込数（推計）（県統計）>

3. 六呂師高原・奥越エリアの課題

3. 1. 六呂師高原の課題

(1) スノースポーツに代わる多様なコンテンツの造成

- ・ 国内のスキー・スノーボード人口は年々減少していることに加え、近年は冬期の小雪・豪雪といった極端な気象環境が続いているため、スキー場の安定的な運営は難しい状況です。
- ・ これまで、六呂師高原では、スキー場の運営を中心とした冬のスノースポーツによる観光誘客を進めてきましたが、今後はスノースポーツに代わる新たな誘客を検討する必要があります。



- ・ トレッキングやサイクリング等のアウトドア・アクティビティや、自然の中で働きながら過ごすワーケーション等、自然と調和し、かつアフターコロナを見据えた新たなライフスタイルへの需要が急速に高まっています。
- ・ 六呂師高原内に立地する施設は県・市の公営施設がほとんどであり、新たな需要に対応するサービスの導入を図るため、民間事業者の参入等を促す必要があります。

(2) 周遊性の向上・宿泊施設の充実による滞在時間の増加

- ・ 六呂師高原内の各施設は、高原内に点在しているため、施設同士の連携やサイクリング等の新たな移動手段の提供など、来訪者の周遊性を高める仕掛けが必要です。
- ・ 六呂師高原内に一般来訪者が手軽に宿泊できる施設が少なく、日帰り・一時的な立ち寄りでの利用に限られています。

(3) 高原ならではの自然景観の保全

- ・ 営業休止中の六呂師ハイランドホテルや妻平ヒュッテ、舗装の劣化が進む駐車場エリア等、自然景観を阻害する施設について、解体および緑化等による景観改良が必要です。
- ・ ミルク工房奥越前やトロン温浴施設うらら館等の既存施設についても、外観の意匠・デザインの統一化等を図り、エリア全体での魅力向上につなげる必要があります。

(4) 六呂師高原に立地する各施設のサービス向上・レベルアップ

- ・ 自然保護センターや奥越高原青少年自然の家等、施設の老朽化への対応や施設内容の刷新が求められる施設については、新たな魅力向上につながる施設改修と新たなソフト事業の検討が必要です。
- ・ 中部縦貫自動車道の県内全線開通等を見据え、県外からの観光誘客を図るため、各施設における一層のサービス向上が必要です。

3. 2. 奥越エリアの課題

(1) 今後の高速交通網の進展を見据えた観光施策

- ・ 直近5か年の奥越エリアの観光客入込数は、年間400万人強で推移している一方で、入込数の伸びは鈍化している状況です。
- ・ 奥越エリアの特徴である自然が楽しめる環境整備や独自の地域資源に磨きをかけ、今後の観光誘客を牽引する新たな観光施策が必要です。

(2) 滞在時間・観光消費額の向上

- ・ 奥越エリアを訪れる観光客は、大部分が日帰り客となっており、エリア内で消費される観光消費額を向上させていくためには、県外客にも選ばれるサービスを提供できる宿泊施設の整備が必要です。

(3) 地域の魅力を伝えエリア内の周遊観光を促す情報発信

- ・ 本県に関する情報メディア等での接触度は他県に比べ相対的に低い状況にあります。
- ・ 北陸新幹線の福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の県内全線開通を見据え、観光資源を磨き上げるとともに、ターゲットの見極めと、そのターゲットに向けた的確な情報発信を行うことが必要です。とりわけ、奥越エリアでは自然資源を活かしたアウトドアが観光施策の柱となるため、アウトドアを嗜好するターゲットへの効果的な情報発信が重要です。

＜ブランド調査2021 福井県の結果概要（ブランド総合研究所）＞

指標	全国順位
情報接触度	42位
魅力度	39位

指標	全国順位
認知度	45位
観光意欲度	33位

(4) 近隣エリアとの広域周遊観光の推進

- ・ 来訪者の増加、魅力の向上のため、県内はもちろんのこと、隣接する石川県や岐阜県との広域での周遊観光を推進する必要があります。

(5) 多様な自然資源を活かしたアウトドア・アクティビティの充実

- ・ 奥越エリアの特徴である多様な自然資源を活用するためには、魅力的なアウトドア・アクティビティの造成が有効ですが、現状では登山やカヤック等にとどまっています。
- ・ 奥越エリアで展開しているジャパンエコトラック九頭竜川・荒島岳において、現状では、奥越エリアの平野部の活用が中心であり、さらなる魅力向上のためには、山岳域やエリアをまたいだ広域での展開が必要です。
- ・ アウトドア・アクティビティを初心者や未経験者でも楽しめるように展開するためには、インストラクター・ガイドが不可欠であり、今後はアウトドア分野に精通した人材の育成が必要です。
- ・ アウトドア・アクティビティの中上級者を奥越エリアのリピーターとするためには、快適な活動をサポートするハード面の整備およびアウトドアを楽しめる魅力的なルート造成が必要です。
- ・ アウトドア・アクティビティを活用した誘客を進める上では、来訪者の数のみを求めるのではなく、体験の質と満足度を高めることでリピーターの獲得や滞在時間の増加につなげることが必要です。また、自然環境に過度な負荷を与えない持続可能な方法での施設整備が必要です。

第3章 基本方針の設定

1. 奥越エリア・六呂師高原のアウトドア観光 <コンセプト>

- ・ 白山国立公園や奥越高原県立自然公園を有する奥越エリアは、荒島岳、九頭竜湖、九頭竜川、六呂師高原等の豊かな自然とそこに育まれる歴史や文化、それらを楽しむアウトドア・アクティビティの拠点としての機能が最大の特徴です。
- ・ 自然の成り立ちとその豊かさ、歴史や文化を体験できる拠点エリアとして、来訪者の誰もが気持ちよくアウトドアを楽しめる環境を創出することを本構想の基本方針とし、コンセプトを以下のとおり設定します。

アウトドアを軸とした誰もが自然を楽しめる山岳高原エリア

2. 奥越エリア・六呂師高原のアウトドア観光 <目指す姿>

- ・ 上記のコンセプトにある奥越エリアの魅力を最大限に引き出すために、「目指す姿」を以下のように設定します。

- 自然環境を守りながら活かし体験できるエリア
- 多様なニーズに応え楽しく快適に滞在できるエリア

(1) 福井県全体の観光における奥越エリアの位置づけ

- ・ 県内随一の山岳高原エリアであり、固有の自然資源や歴史・文化を有する奥越エリアは、登山やサイクリング、キャンプ、カヤック、化石発掘、星空観賞等の多様なアウトドア・アクティビティを軸とした自然体験観光エリアを目指します。
- ・ 中部縦貫自動車道の県内全線開通に伴い、奥越エリアは中京圏に向けた東の玄関口となるため、大野東ICに隣接する道の駅越前おおの荒島の郷を起点に、本県固有の自然資源の価値を伝える発信基地として位置づけます。

(2) 奥越エリアにおける六呂師高原の位置づけ

- ・ 日本一綺麗な星空や高原景観、県内最大の火山地形等の固有の自然資源を有しており、それらの貴重な資源を守りながら活かし、静かで上質な滞在空間を提供するとともに、奥越エリアひいては県内屈指の登山やサイクリング、キャンプ等のアウトドア・アクティビティが集積する一大拠点を目指します。
- ・ 再整備にあたっては、SDGs への対応や持続可能性に配慮した整備内容を検討し、過度な建築や構造物の新設を行うのではなく、運営管理コストや環境負荷等のライフサイクルコストに考慮した整備を推進します。

3. 課題と取組みの方向性

- ・ 2 に掲げた「目指す姿」を実現するための課題と取組みの方向性を以下のとおり記載します。

(1) 課題

〔六呂師高原・奥越エリアにおける課題のまとめ〕

課題	六呂師高原	奥越エリア
スノースポーツに代わる多様なコンテンツの造成	◎	○
周遊性の向上・宿泊施設の充実による滞在時間の増加	◎	○
高原ならではの自然景観の保全	◎	
六呂師高原に立地する各施設のサービス向上・レベルアップ	◎	
今後の高速交通網の進展を見据えた観光施策	◎	◎
滞在時間・観光消費額の上昇	◎	◎
地域の魅力を伝えエリア内の周遊観光を促す情報発信	○	◎
近隣エリアとの広域周遊観光の推進	○	◎
多様な自然を活かしたアウトドア・アクティビティの充実	◎	◎

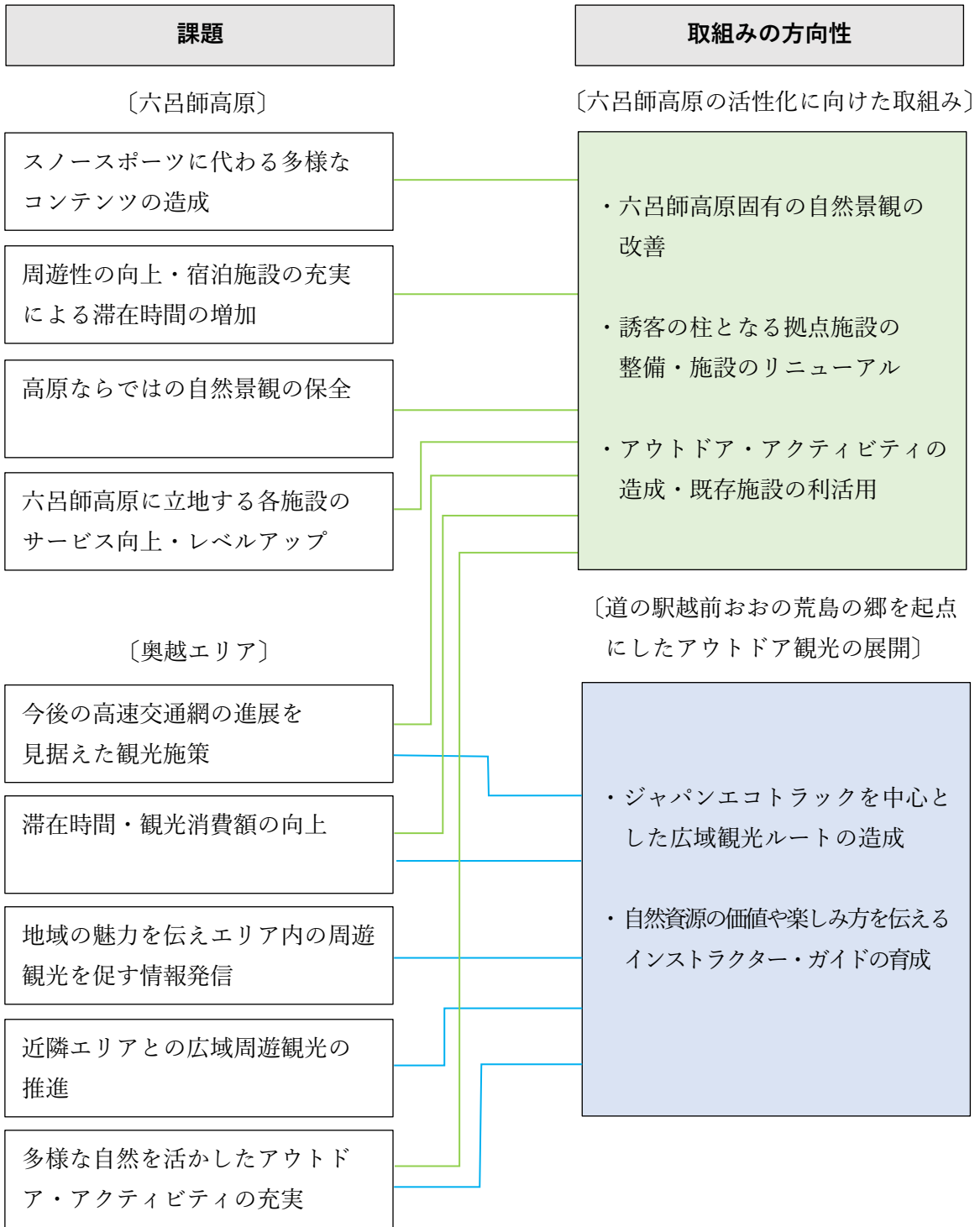
(2) 取組みの方向性

〔六呂師高原の活性化に向けた取組み〕

- ・ 六呂師高原固有の自然景観の改善
- ・ 誘客の柱となる拠点施設の整備・施設のリニューアル
- ・ アウトドア・アクティビティの造成・既存施設の利活用

〔道の駅越前おおの荒島の郷を起点にしたアウトドア観光の展開〕

- ・ ジャパンエコトラックを中心とした広域観光ルートの造成
- ・ 自然資源の価値や楽しみ方を伝えるインストラクター・ガイドの育成



<参考：ジャパンエコトラックとは>

トレッキング、カヤック、自転車といった人力による移動手段で、日本各地の豊かで多様な自然を体感し、地域の歴史や文化、人々との交流を楽しみながら旅をする、新しい旅のスタイル

第4章 具体的な取組み施策

1. 六呂師高原の活性化に向けた取組み

〔六呂師高原のゾーニング〕

- ・ 六呂師高原内を3つのゾーンに区分し、各ゾーンの特徴に合わせた事業を推進します。

<滞在ゾーン>

オートキャンプ場、コテージ、レストラン、温浴施設、フィールドアスレチック等を備え、六呂師高原のアウトドア観光のベースとなるゾーンです。六呂師高原の入口に位置し、来訪者はこのゾーンを拠点に高原内や奥越エリアのアウトドアを楽しむことができます。

【主な機能・施設】 オートキャンプ場、コテージ、レストラン、トロン温浴施設うらら館、多目的広場、動物とのふれあい、巨岩を活用したフィールドアスレチック

<牧場体験ゾーン>

六呂師高原を特徴づける牧場体験ができるゾーンです。スイスのアルプスを彷彿とさせる景観を楽しみながら、牧場見学や乳製品の加工体験・飲食等を楽しむことができます。

【主な機能・施設】 奥越高原牧場、乳製品の加工体験・飲食

<自然観察ゾーン>

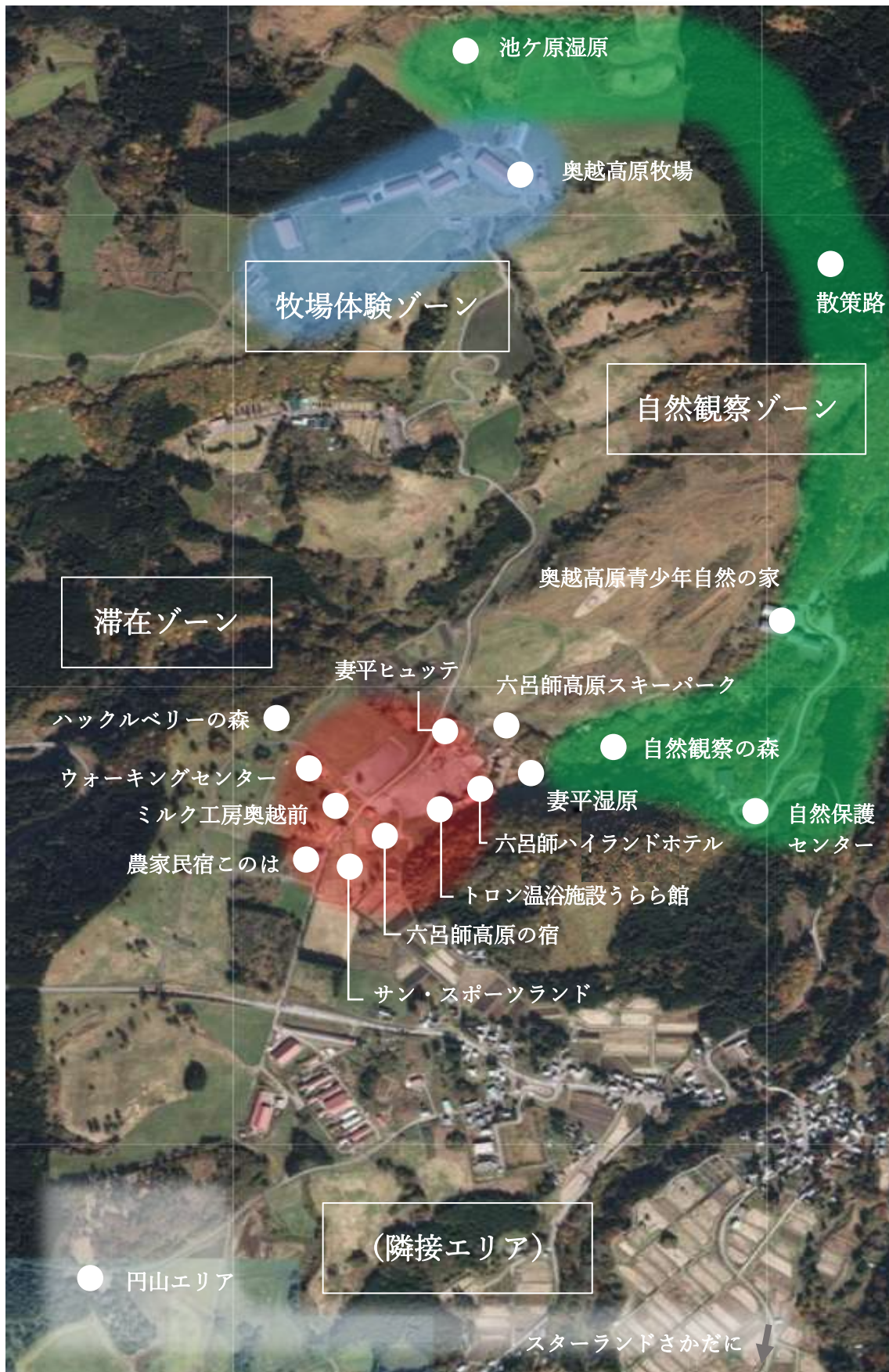
自然散策や湿原での生き物観察等、六呂師高原ならではの自然を観察し学習できるゾーンです。

【主な機能・施設】 自然保護センター、自然観察の森、妻平湿原、池ヶ原湿原、散策路、奥越高原青少年自然の家

<隣接エリア>

牧草地や棚田が広がる自然環境の中で自然体験や滞在等を楽しむことができます。

【主な機能・施設】 円山エリア、スターランドさかだに



1. 1. 六呂師高原固有の自然景観の改善

- ・ 六呂師高原固有の自然景観を保全するため、老朽化や今後の活用が見込めない施設は解体を行う“引き算”の景観改良を進めます。

〔滞在ゾーン〕

(1) 六呂師ハイランドホテルの解体

- ・ 運営休止中の六呂師ハイランドホテルは解体を行い、跡地は緑化整備等を行います。



＜六呂師ハイランドホテル＞



＜前面のアスファルト舗装＞

(2) 妻平ヒュッテの解体

- ・ 運営休止中の妻平ヒュッテは解体を行い、跡地は緑化整備等を行います。



＜妻平ヒュッテ＞

(3) サン・スポーツランド管理棟の解体

- ・ 施設の老朽化が進むサン・スポーツランド管理棟は解体を行い、跡地はコテージの整備候補地として活用します。



<サン・スポーツランド管理棟>

(4) 南六呂師区農機具小屋の解体

- ・ 施設の老朽化が進む南六呂師区農機具小屋は解体を行い、跡地は緑化整備等を行います。

〔自然観察ゾーン〕

(5) 六呂師高原スキーパークの運営廃止・施設の解体

- ・ 運営休止中の六呂師高原スキーパークは解体を行い、跡地は緑化整備等を行います。

〔隣接エリア〕

(6) その他隣接エリアでの景観改良等

- ・ 円山エリアにおいて、ミニ動物園等の老朽化が進む一部エリアは解体を行い、来訪者が滞在できる新たな機能を検討します。

1. 2. 誘客の柱となる拠点施設の整備・施設のリニューアル

- ・ 中部縦貫自動車道の県内全線開通を見据え、県外に向けた誘客力の向上や高原内の宿泊・滞在時間の拡大を推進するため、新たな誘客の柱となる拠点施設の整備や、六呂師高原固有の自然資源を活用したアウトドアフィールドの整備、既存施設の改修等を検討します。

○新たに整備する施設

〔滞在ゾーン〕

(1) オートキャンプ場

【コンセプト】

- ・ 山岳高原の景観と星空がゆったりと楽しめ、各種アウトドア・アクティビティのベース拠点となるほか、ワーケーションにも対応する機能充実のオートキャンプ場

【誘客ターゲット】

- ・ 登山やサイクリング等を行うアクティブなアウトドア層
- ・ キャンプそのものを楽しむキャンプユーザー層
- ・ 県内外から恐竜博物館を訪れるファミリー層
- ・ ワーケーション等により滞在を行うファミリー層またはシングル層

【機能概要】

- ・ ミルク工房奥越前周辺の広い平坦地を活用し、車の乗り入れが可能なオートキャンプサイトを整備
- ・ 一般的なキャンプサイトと比べ各サイト間の配置を広く設け、ゆったりと贅沢な空間を提供
- ・ 水洗トイレ、給湯付き炊事場、キャンプ用品レンタル庫（テント、寝袋、マット、焚火台等）、レンタルバイクをまとめた小屋を併設する「ユニットキャンプサイト」を整備



<ユニットキャンプサイト イメージ>



<ユニットキャンプサイト イメージ>

(2) コテージ

【コンセプト】

- ・ アウトドア初心者でも宿泊・滞在ができ、周辺のアウトドア・アクティビティを楽しめるほか、ワーケーションにも対応した機能充実コテージ

【誘客ターゲット】

- ・ アウトドア初心者や未経験者等のライトなアウトドア層
- ・ 登山やサイクリング等を行うアクティブなアウトドア層
- ・ 県内外から恐竜博物館を訪れるファミリー層
- ・ ワーケーション等により滞在を行うファミリー層またはシングル層

【機能概要】

- ・ サン・スポーツランドのテニスコートエリア周辺を活用し、周辺の高原景観に調和した施設デザインのコテージを整備

〔 ベッドルーム／リビングダイニング／簡易キッチン／トイレ／シャワー／
BBQ ができるデッキテラス／テントが設置できる前庭／駐車場 等 〕



<コテージ イメージ (アウトドアヴィレッジ本山 (高知県)) >

(3) オートキャンプ場・コテージの管理棟／レストラン

【機能概要】

- ・ ミルク工房奥越前を改修し、新たに整備するオートキャンプ場・コテージの管理棟として活用

(管理棟の機能)

- ・ オートキャンプ場・コテージの利用受付や、レンタル用品の管理を行うほか、物販スペースを併設し、燃料や薪、食料品等のキャンプに必要な消耗品等を販売

(レストランの機能)

- ・ 店内飲食に加え、テイクアウト商品の充実も図り、屋外で高原景観を望みながら飲食を楽しめる空間を提供（オートキャンプ場・コテージ利用者の食事にも対応）
- ・ ミルク工房奥越前内の乳製品加工体験設備は、奥越高原牧場に移設



<管理棟 イメージ（モンベル五ヶ山
ベースキャンプ（福岡県））>



<レストラン イメージ（ハーベステラス
本山店（高知県））>

(4) 巨岩を活用したフィールドアスレチック

【機能概要】

- ・ 六呂師高原内に点在する巨岩（伏石）を活用し、子供から大人まで楽しめるフィールドアスレチックを整備
- ・ 実際に点在する巨岩の活用に加え、岩を模した擬岩にクライミングホールドを設置したボルダリングフィールドの配置も検討



<フィールドアスレチック イメージ>

〔自然観察ゾーン〕

(5) マウンテンバイク等の走行を想定した周遊道の整備

【機能概要】

- ・ 六呂師高原内の斜面を活用し、マウンテンバイクで滞在ゾーンから自然観察ゾーン、牧場体験ゾーンを走行できる周遊道を整備
- ・ オートキャンプ場・コテージの管理棟において、マウンテンバイク等のレンタルサービスの導入を行い、六呂師高原内で楽しめるアウトドア・アクティビティとしても活用



<マウンテンバイク道 イメージ>

○改修・魅力向上を図る施設

〔滞在ゾーン〕

(1) トロン温浴施設うらら館の改修

- ・ 環境負荷に配慮した施設運営を図るため、脱炭素に向けた木質バイオマスボイラーを導入します。
- ・ 施設の外観を木目調にする等、周辺の新設・改修施設との外観・意匠の統一を図り、自然景観と調和した施設内容に改修します。

(2) サン・スポーツランドの活用

- ・ サン・スポーツランド内のグラウンドをイベント等で使える多目的広場として活用します。

(3) ウォーキングセンターの活用・自然観察施設の整備

- ・ 自然散策のガイド施設であるウォーキングセンターについて、高原内で行う体験イベントの屋内スペースとしての利用やガイドによる自然散策の拠点施設としての活用等を検討します。

〔牧場体験ゾーン〕

(4) 奥越高原牧場の魅力向上

- ・ 展望の良い立地環境を活かし、ミルク工房奥越前で実施している乳製品の加工体験設備の移設や、飲食・物販機能の設置等を行い、「楽しめる牧場」に機能拡充を行います。

〔自然観察ゾーン〕

(5) 自然保護センターの改修

- ・ 六呂師高原の動植物や星空等の自然資源を親子が楽しみながら「体感」できるよう、展示・星空観察棟・自然観察の森等を改修します。

(6) 自然散策環境の整備

- ・ 自然保護センターの改修にあわせ、自然観察の森や湿原の自然再生、案内看板の再配置、自然散策路内に残る老朽化した建物・ベンチの撤去・トイレ（池ヶ原湿原入口）の改修等を行い、季節ごとに変化する自然資源を来訪者が楽しみ散策できる環境を整備します。

(7) 奥越高原青少年自然の家の魅力向上

- ・ リモートでの研修参加や宿泊者の利便性向上のため、Wifi等の通信環境・設備の導入のほか、老朽箇所の定期修繕を行い、施設の魅力向上を図ります。

1. 3. アウトドア・アクティビティの造成・既存施設の活用

(1) 活用資源：星空

- ・ 「日本一綺麗な星空」を将来にわたって保護していくため、国際ダークスカイ協会が行う星空保護区（アーバン・ナイトスカイプレイス部門）認定に向けた取組みを促進します。
- ・ 星空ハンモックや自然保護センターによる星空観望会等の開催を通じ、星空の価値を伝えるとともに、周辺エリアへの宿泊にもつなげる星空観光を推進します。

(2) 活用資源：高原景観・湿原

- ・ 電動アシスト機能を備えたスポーツバイク（Eバイク）のレンタルを導入するほか、新たに整備を検討するマウンテンバイク道を活用したアウトドア体験を提供します。
- ・ ジャパンエコトラック九頭竜川・荒島岳のサイクリングルートの中継地点として、サイクリストが休憩や観光で立ち寄るためのサービス（バイクラック・工具の設置等）を提供します。
- ・ 自然保護センターを拠点に、湿原や自然観察の森を活用した生き物観察会や自然散策イベント等を開催します。
- ・ 高原景観を楽しみながら、牧場見学や乳製品の加工・飲食等を楽しめる牧場体験を提供します。
- ・ 動物とのふれあい（例：ホーストレッキング、ドッグラン）等により、ファミリーを中心に高原内の滞在を楽しめる新たなアクティビティを提供します。

(3) 活用資源：登山

- ・ 日本三百名山に選ばれる経ヶ岳や周辺の登山コースの登山拠点としての活用を図ります。

(4) 活用資源：雪

- ・ スノーシューやクロスカントリー、斜面を活用したエアボード等、雪を活用したスノーアクティビティを提供します。

(5) 既存イベントの継続実施

- ・ 六呂師高原の自然環境を活かした誘客イベントを開催します。

<主な誘客イベント>

イベント名	時期	概要
星空ハンモック	通年	ハンモックに揺られながら、日本一綺麗な星空を観賞。 光のオブジェを会場内に配置し幻想的な空間を演出
アルプス音楽祭	秋	スイスのアルプスを思わせる高原景観をバックに、 アルプスの民族音楽や地元食材のマーケット等を開催
さかだに雪まつり	冬	雪のすべり台や雪の迷路、雪上フレッジ大会等、雪遊び を満喫
星降るランタン ナイト	冬	美しい星空に向けて、本場の台湾やタイのように 火を使ったスカイランタンを打ち上げ

2. 道の駅越前おおの荒島の郷を起点にしたアウトドア観光の展開

2. 1. ジャパンエコトラックを中心とした広域観光ルートの造成

- ・ 令和3年4月に大野市、勝山市、永平寺町、福井市、坂井市にまたがる7つのアウトドアルートが「ジャパンエコトラック九頭竜川・荒島岳」として登録されました。
- ・ 中部縦貫自動車道の県内全線開通を見据え、本県の東の玄関口となる道の駅越前おおの荒島の郷を起点とした、さらなる広域観光ルートの造成を検討します。

(1) ジャパンエコトラックルートの拡充

- ・ 現在ジャパンエコトラックに登録されているルートは、平野部のサイクリングルートを中心に設定されています。
- ・ 今後、幅広いユーザーが楽しめるようなエリアとするため、奥越エリアの最大の魅力の一つである山岳景観を味わえるルートや、岐阜県・石川県等の近隣エリアも含めた広域観光ルートの設定を検討するほか、初心者から上級者までの経験レベルに応じたルートを設定することで、幅広いユーザーが楽しめる環境を整備します。



<ジャパンエコトラクルートの拡充 イメージ>

〔サイクリング〕

① 九頭竜川ダム・真名川ダム・笹生川ダム周遊山岳サイクリングルート

【ルートのコンセプト】

- ・ 3つのダム湖を周遊する山岳サイクリングルートです。
- ・ エスケープルートがなく携帯電話が使用できない箇所もあるため上級者向けのルートですが、急なアップダウンが少なく、雄大なダム湖の景観や真名峡の渓谷等、奥越エリアの山深さを存分に味わえるルートです。
- ・ 県道 230 号の道幅は狭く、路面が悪い箇所があるものの、通行車両も少ないため、ロードバイクでの走行も可能です。

【ルート概略】

- ・ 道の駅越前おおの荒島の郷→九頭竜湖→笹生川貯水池→麻那姫湖→道の駅越前おおの荒島の郷

【ルート詳細スペック】

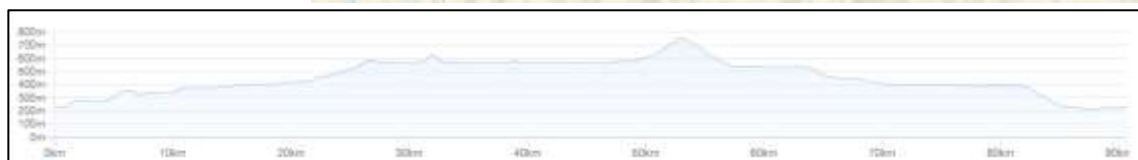
- ・ 距離：90.2km / 獲得標高 971m / 平均斜度：1.1% / コースタイム：9:00

【主な見どころ、立ち寄りスポット】

- ・ 勝原園地、九頭竜渓谷、九頭竜保養の里、道の駅九頭竜、化石発掘体験センターHOROSSA!、九頭竜ダム、九頭竜湖、夢のかけ橋、笹生川貯水池、笹生川ダム、麻那姫湖青少年旅行村、真名川ダム、真名峡



＜ルート イメージ＞



② 大野・勝山～白山サイクリングルート

【ルートコンセプト】

- ・ 大野市、勝山市から白山の麓・白峰や手取湖を通り石川県側に抜けるルートです。
- ・ トンネルやスノーシェッドが多いものの、道幅が広く交通量は多くないため、ジャパニーズエコトラック「いしかわり山里海」にも接続することができる県境越えルートです。

【ルート概略】

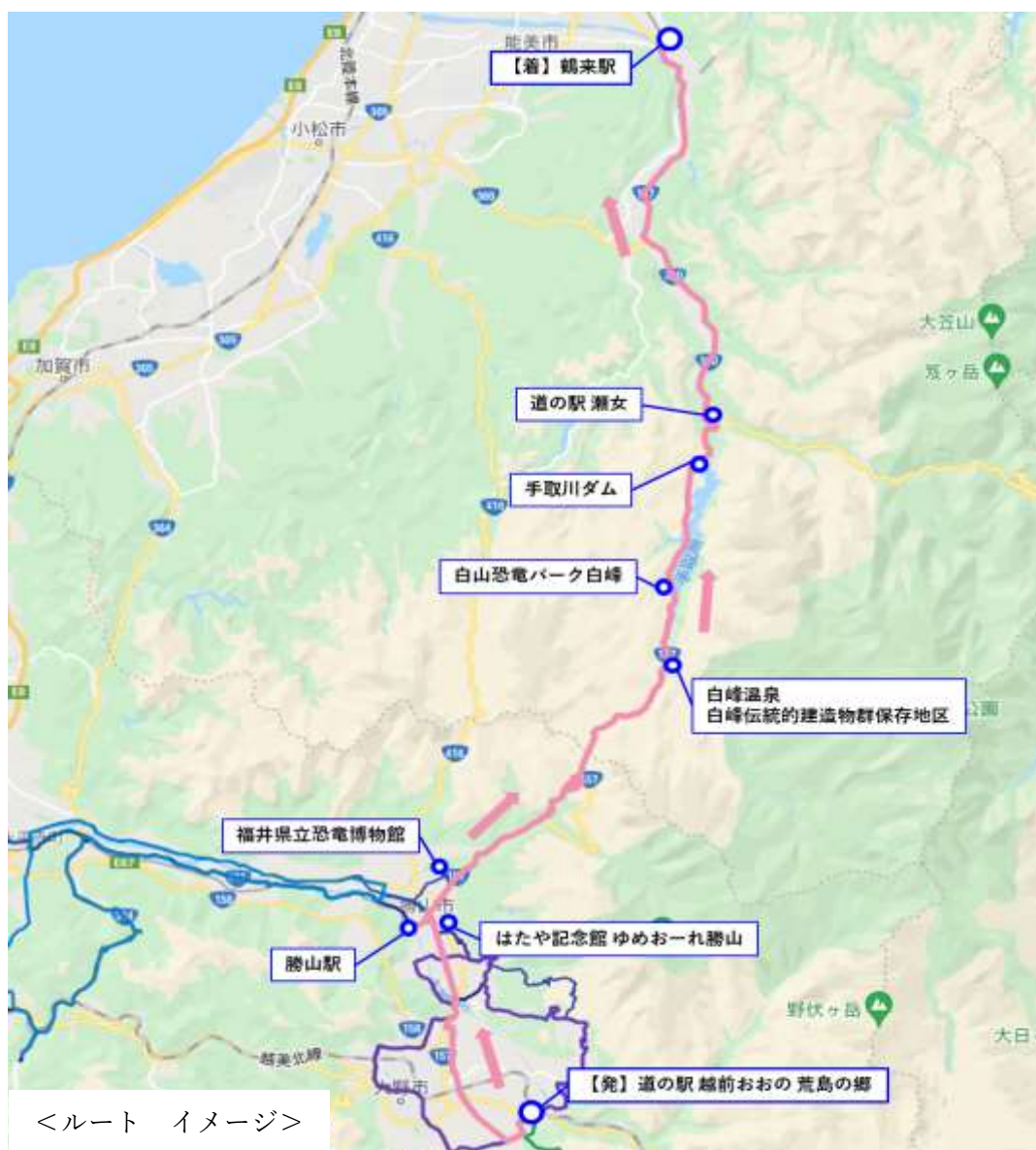
- ・ 道の駅越前おおの荒島の郷→勝山駅→手取湖→北陸鉄道鶴来駅（白山市）

【ルート詳細スペック】

- ・ 距離：76.2km / 獲得標高：1,156m / 平均斜度：1.5% / コースタイム：7:30

【主な見どころ、立ち寄りスポット】

- ・ はたや記念館ゆめおれ勝山、恐竜博物館、白峰温泉、白山恐竜パーク白峰、手取川ダム、道の駅瀬女



③ 大日峠サイクリングルート

【ルートコンセプト】

- ・ 大野市、勝山市の盆地を一望できる大日峠の眺望が魅力の峠越えヒルクライムルートです。上りごたえのある峠道が、健脚のサイクリング愛好家に適しています。

【ルート概略】

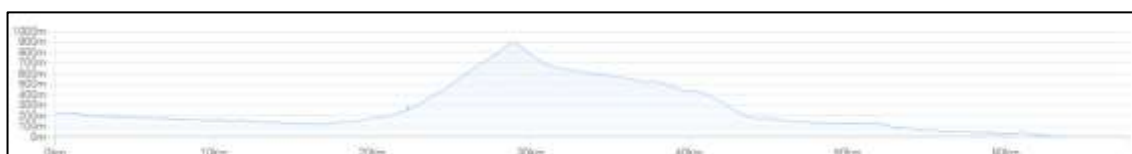
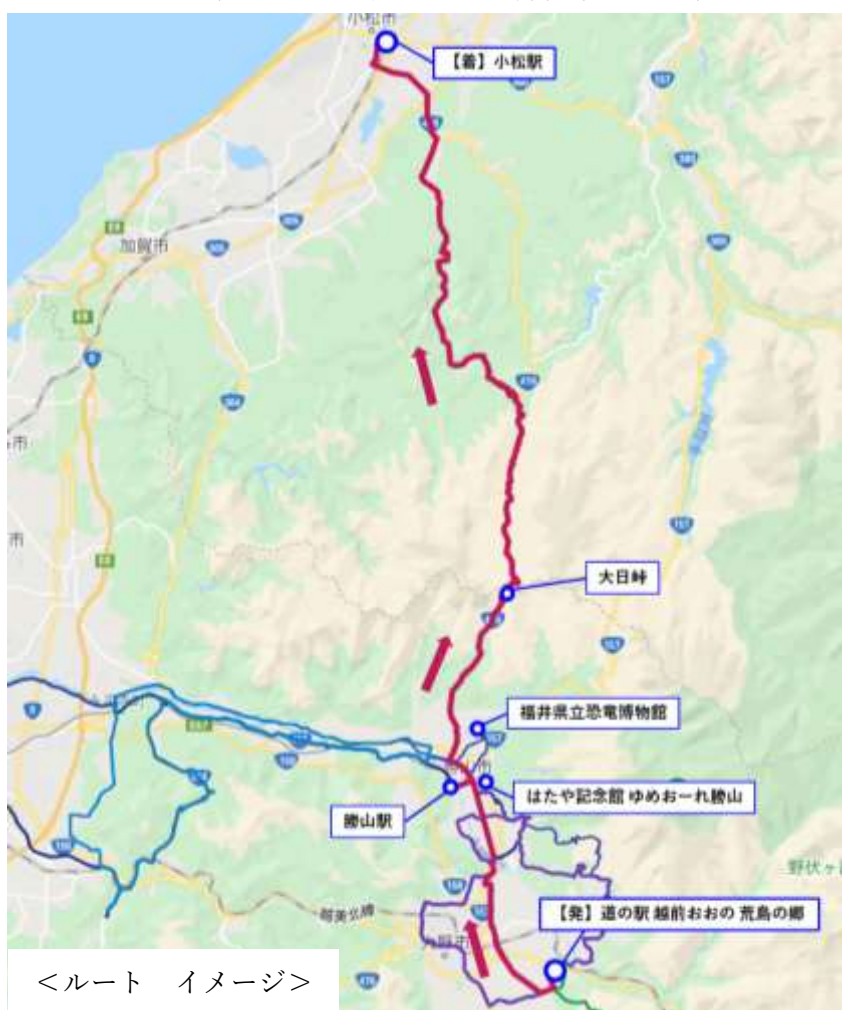
- ・ 道の駅越前おおの荒島の郷→勝山駅→大日峠→小松駅

【ルート詳細スペック】

- ・ 67.8km / 獲得標高：1,027m / 平均斜度：1.5% / コースタイム：7:00

【主な見どころ、立ち寄りスポット】

- ・ はたや記念館ゆめおーれ勝山、恐竜博物館、大日峠



④ 大野~美濃白鳥サイクリングルート

【ルートコンセプト】

- ・ 岐阜県との県境を跨ぐ広域ルートです。
- ・ 急なアップダウンも多くなく、中部縦貫自動車道が開通することで国道 158 号の交通量減少が予想されるため、気軽に県境越えを楽しめます。
- ・ 九頭竜渓谷や九頭竜湖の雄大な景観、峠を越えて広がる岐阜県の山並みやアルプスの眺望も魅力です。

【ルート概略】

- ・ 道の駅越前おおの荒島の郷→九頭竜湖→長良川鉄道美濃白鳥駅（郡上市）

【ルート詳細スペック】

- ・ 距離：47.9km / 獲得標高 1,005m / 平均斜度：2.1% / コースタイム：4:30

【主な見どころ、立ち寄りスポット】

- ・ 勝原園地、九頭竜渓谷、九頭竜保養の里、道の駅九頭竜、化石発掘体験センター HOROSSA!、九頭竜ダム、九頭竜湖、夢のかけ橋、油坂さくらパーク



<ルート イメージ>



⑤ 大野～池田～鯖江・越前サイクリングルート

【ルートコンセプト】

- ・ 2つの峠を越えて、大野市から池田町を経由して鯖江市、越前市へ至る広域ルートです。
- ・ 福井県の山深い景観と里山風景が楽しめるのどかなロングルートです。
- ・ 足羽川ダムが完成した際には、県道 34 号を通るルート上に見どころが多くなります。

【ルート概略】

- ・ 道の駅越前おおの荒島の郷→越前大野城→池田町→武生駅

【ルート詳細スペック】

- ・ 距離：58.3km / 獲得標高：630m / 平均斜度：1.1% / コースタイム：5:30

【主な見どころ、立ち寄りスポット】

- ・ 越前大野城、ツリーピクニックアドベンチャーいけだ



〔トレッキング〕

① 経ヶ岳登山ルート

【ルートのコンセプト】

- ・ 経ヶ岳は、日本三百名山にも選定されており、過去の山体崩壊によって六呂師高原を形成した名山です。
- ・ 六呂師高原をベースにロングルートや稜線歩きを味わえるほか、山頂からの眺望も良く、白山や荒島岳、大野平野を一望できます。

【発着】

- ・ 六呂師高原（大野市）

【ルート詳細スペック】

- ・ 距離：13km / 獲得標高：1,125m / コースタイム：7:00（往復）



② 赤兎山登山ルート

【ルートのコンセプト】

- ・ コースタイムが短く、急な登りが少ない初心者向けルートですが、頂上からは荒島岳や経ヶ岳、白山から続く別山、三ノ峰の山々が一望できます。
- ・ 山頂付近には県内唯一の高層湿原である赤池があり、植物観察も楽しめます。登山口から小原峠までのルートは、美しいブナ林に覆われ、白山参拝の古道・越前禅定道の一部であり、古の文化に思いをはせることができます。

【発着】

- ・ 小原林道終点登山口（勝山市）

【ルート詳細スペック】

- ・ 距離：4.6km / 獲得標高：478m / コースタイム：4:00（往復）



③ 三ノ峰・別山登山ルート

【ルートのコンセプト】

- ・ 白山を目の前に、遠く北アルプスまでを見渡せる稜線歩きが魅力の健脚向きロングルートです。
- ・ 上部は高山植物が豊富で、季節ごとに多種多様な植物の観賞が楽しめます。登山口である上小池園地には駐車場、トイレ、キャンプ場が整備されており、快適な登山が楽しめます。
- ・ 三ノ峰から別山にかけての稜線は、白山参拝の古道・美濃禅定道の一部であり、素晴らしい眺望の中での稜線歩きが楽しめます。

【発着】

- ・ 上小池駐車場（大野市）

【ルート詳細スペック】

- ・ 距離：16km / 獲得標高：1,814m / コースタイム：10:00（往復）



④ 刈込池ハイキングルート

【ルートコンセプト】

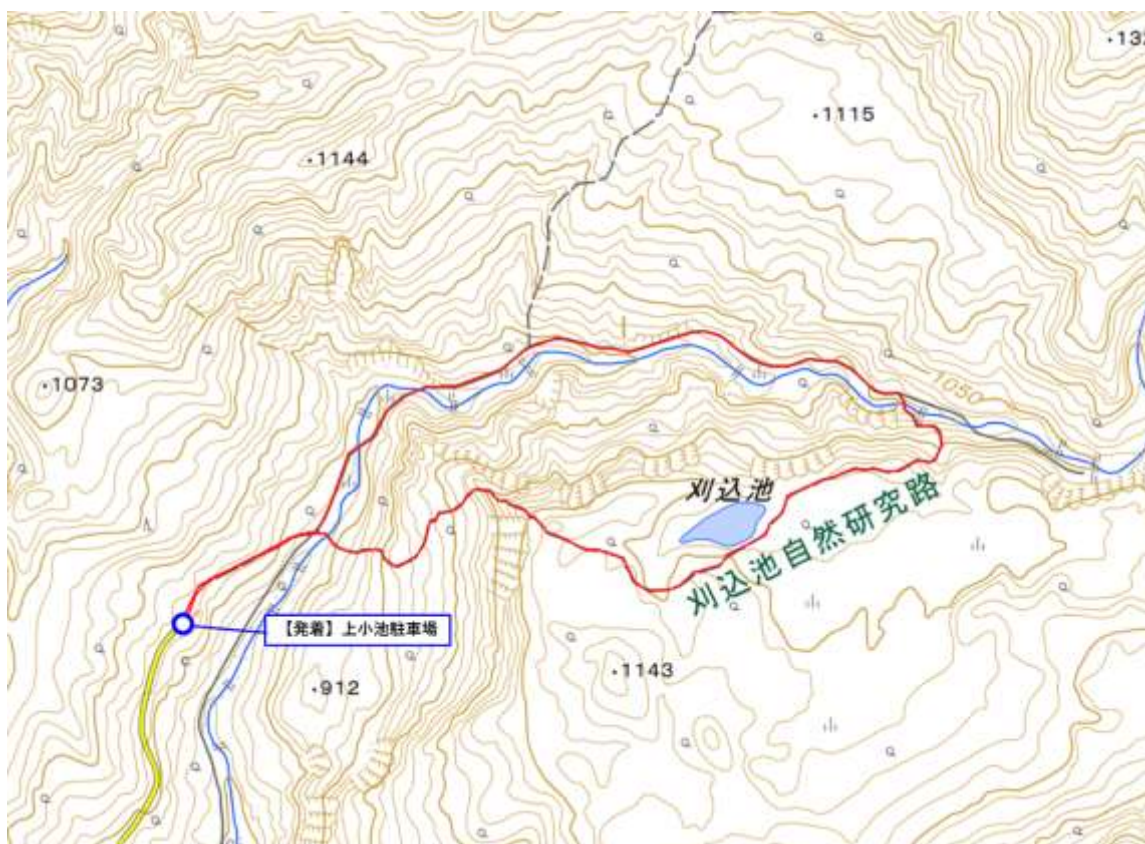
- ・ 白山国立公園の南部、三ノ峰の麓にある刈込池は、周囲約 400m の高原性の湖沼です。
- ・ ブナやミズナラ等の原生林の中で手軽にハイキングが楽しめ、特に新緑や紅葉の時期には多くの来訪者で賑わいます。

【発着】

- ・ 上小池駐車場（大野市）

【ルート詳細スペック】

- ・ 距離：3.5km / 獲得標高：280m / コースタイム：2:00



(2) アウトドアの受入環境の整備 (例)

- ・ ジャパンエコトラックのルート拡充にあわせ、案内看板やロードサイン、駐車場の整備等、アウトドアを楽しむために必要な受入環境の整備を検討します。

〔サイクリングに関する受入環境の整備 (例)〕

① 案内看板、ロードサインの整備

- ・ ルート名や距離情報を記載した案内看板等を設置することで、サイクリストは安全にサイクリングを楽しむことができます。

<主な標識の形状や特徴 例>

路面標示	看板タイプ	円柱タイプ
路面にプリントを施し、主にサイクリング利用者に対してルート情報等を表示	登山道やサイクリングルートに分岐地点に配置	円柱状の標識を道路に設置し、サイクリング利用者へルート情報等を表示
(特徴) 視認性が高い	(特徴) 分岐を表示しやすい	(特徴) 耐久性が高い
		

<標識への主な記載内容 例>

項目	内容
進行方向	右左折や直進等、進行方向の表示
ルート名・ロゴ	歩行・走行しているルート名・ロゴの表示
目的地・経由地	歩行・走行しているルートの目的地・経由地の表示
距離	スタートからの歩行・走行距離の表示

② 路面の改良

- ・ ロードバイクを代表とするスポーツサイクルは、タイヤ幅が狭いため、路面の側溝やグレーチング蓋の隙間にタイヤがはまり込み、転倒の危険性があることから、危険箇所においては路面の段差や溝等の障害物の排除、滑りにくい構造・素材への改良が必要です。
- ・ また、水溜まりや落ち葉溜まり等のごみは、スリップによる転倒の原因になるため、定期的な清掃や水・落ち葉が溜まりにくい構造を検討する必要があります。

③ バイクラック、工具等の設置

- ・ 各観光関連施設においてバイクラックや工具等を設置することで、サイクリストはルート間の休憩や用具が故障した際の修理地点として活用できます。

<バイクラック、工具等の設置に適した施設 例>

宿泊施設、観光施設、飲食店、道の駅、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、自転車店 等

④ サイクルトレインの運行

- ・ サイクリストがルートの出発地点等への移動を快適に行える環境を整備するため、越美北線を活用したサイクルトレインの運行を検討します。

〔トレッキングに関する受入環境の整備（例）〕

① 登山口における駐車場の整備

- ・ 登山口は、自動車でのアクセスに限定される場所に位置している場合が多く、登山者が安全に登山を楽しむためには、各登山口に十分な駐車場の整備が必要です。

② トイレの整備

- ・ 自然環境の保全や登山者の衛星環境の向上のためには、トイレの整備が必要です。
- ・ 近年は、トイレの設置が難しい登山道中や山頂付近において、携帯トイレブースの設置等も進んでいます。

<奥越エリアの各トレッキングルートにおけるトイレの整備状況>

登山ルート	登山口	登山道中	山頂付近
荒島岳	○	×	×
経ヶ岳	○	×	×
赤兎山	○	×	△避難小屋
三ノ峰・別山	○	×	△避難小屋
刈込池	○	×	×

③ 案内看板の整備

- ・ 登山者が安全に登山を楽しむためには、分岐点等に案内看板の設置が必要です。また、既設の案内看板についても、案内情報の更新や補修等の定期的なメンテナンスが必要です。

④ 登山道の維持・管理

- ・ 登山者の安全を確保し、道の崩落や階段の脱落等を防ぐためには、登山道の定期的な維持・管理が必要です。

⑤ 登山口までの送迎サービス

- ・ 奥越エリアの登山ルートの多くが、自動車でのアクセスのみに限られているため、道の駅等の滞在拠点から乗り合いタクシーやバス等の送迎を行うことで、より多くの登山者の利用が期待できます。
- ・ 登山口までの送迎を行うことで、登山口周辺の駐車場の混雑緩和や、駐車場の整備が難しい登山ルートにおいても送客手段を確保することができます。

(3) ジャパンエコトラックを活用したアウトドアイベントの展開 (例)

① 環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」

【SEA TO SUMMIT (シートゥーサミット) とは】

- ・ 海(湖、川)・里・山に親しむイベントとして、アウトドア・アクティビティを楽しむだけでなく、自然とふれあい、環境についても考える環境スポーツイベントです。
- ・ イベントは2日間で行われ、1日目は自然環境や地域振興等について考える「環境シンポジウム」の開催、2日目は海から山へ、カヤック・自転車・登山を組み合わせたアウトドアを楽しむ内容です。(イベントの参加定員：上限300名)

【SEA TO SUMMIT の開催により期待される効果】

- ・ 全国のアウトドア愛好家へのプロモーション効果
海(湖、川)・里・山を活用した大会を開催することで、奥越エリアが持つ多様なフィールドの魅力を全国のアウトドア愛好家に発信します。
- ・ 環境保全意識の啓発
環境シンポジウムでは、有識者からの講演等を通じて、環境保全や地域振興に関する理解を深めます。環境シンポジウムは一般参加可能とすることで、自然環境について理解を深め、環境保全に関して考えるきっかけを提供します。
- ・ 地域の関係団体の連携強化
地元自治体をはじめ、山岳会・漁協・サイクリング協会・商工会等の連携により大会を開催することで、各団体間の連携を強化します。
- ・ 地域住民へのアウトドアスポーツの浸透
大会当日には多くのカヤックが海や湖・川を漕ぎ進む様子やサイクリストが地域内を走り抜ける様子が見られるため、地域住民がアウトドアへ関心を持つきっかけとなります。
地域住民がアウトドアに興味をもち、実際に楽しむようになることで、地域のアウトドアフィールドの整備や受入体制の充実につながります。
- ・ 地域の魅力のプロモーション
大会開催に合わせて、マルシェやおもてなしブースを併催し、地元の特産品を紹介することで、参加者に対する地域の魅力のプロモーションにつなげます。

【SEA TO SUMMIT のルート案】

- ・ SEA TO SUMMIT 開催の条件として、カヤック・サイクリング・トレッキングができるフィールドが必要となります。
- ・ 奥越エリアにおいては、カヤックができるフィールドに限られるため、九頭竜湖を起点として、荒島岳を目指すルートが適しています。

<奥越エリアにおける SEA TO SUMMIT のルート案の概要>

アクティビティ	区間	距離	コースタイム
カヤック	九頭竜湖（野尻公園から周回）	6km	1:00
サイクリング	九頭竜湖～国道 158 号～勝原登山口	23km	1:30
トレッキング	勝原登山口～荒島岳山頂	4.5km	2:30



<奥越エリアにおける SEA TO SUMMIT ルート案>

② Japan Eco Track Ride

【Japan Eco Track Ride とは】

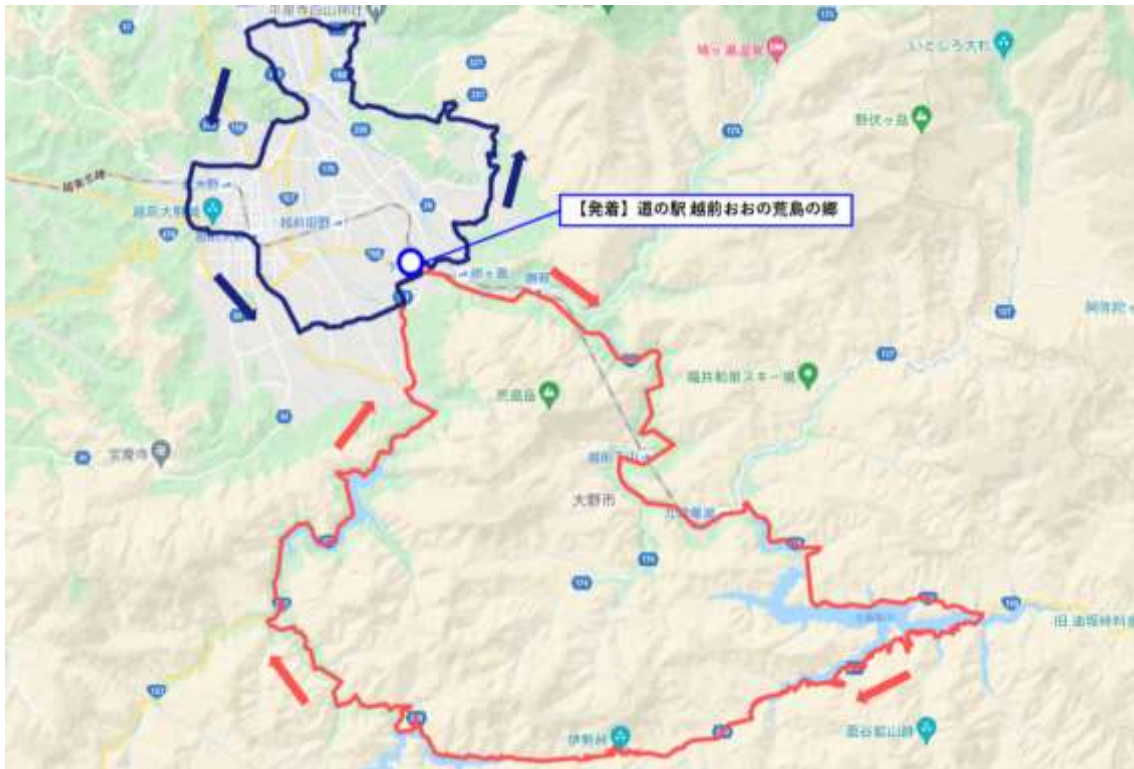
- ・ ジャパンエコトラックのルートを活用した自転車のファンライドイベントです。
- ・ 開催メリットとして、SEA TO SUMMIT と同様に、地域内外にジャパンエコトラックを中心としたアウトドアフィールドを周知することができるほか、地域住民のアウトドアスポーツに対する理解を深めていくことで、来訪者を受け入れるホスピタリティも向上し、さらなる来訪者の獲得につながられます。
- ・ また、イベントの開催を通じ、案内看板や交通インフラ整備の必要性等も検討することで、効果的なアウトドアの受入環境整備を検討することができます。

【Japan Eco Track Ride のルート案】

- ・ Japan Eco Track Ride 開催の条件として、ジャパンエコトラック登録ルートを活用することが必要となります。
- ・ 奥越エリアにおいては、道の駅越前おおの荒島の郷を起点として、距離が短くアップダウンが少ない初級～中級者向けルート（奥越周遊サイクリングルート）と、距離が長くアップダウンも多い上級者向けルート（九頭竜川ダム・真名川ダム・笹生川ダム周遊山岳サイクリングルート）の2ルートが適しています。

<奥越エリアにおける Japan Eco Track Ride のルート案>

ルート名	距離	獲得 標高	発着
奥越周遊サイクリングルート	43km	686m	道の駅越前おおの荒島の郷
九頭竜川ダム・真名川ダム・笹生川ダム周遊山岳サイクリングルート	90.2km	971m	



<奥越エリアにおける Japan Eco Track Ride のルート案>

③ モンベル・アウトドア・チャレンジ

【モンベル・アウトドア・チャレンジとは】

- ・ SEA TO SUMMIT や Japan Eco Track Ride のような大規模イベントとは異なり、ガイドが付いた少人数制のアウトドアイベントです。
- ・ モンベルスタッフがガイドを行うだけでなく、地元ガイドも連携した開催のほか、首都圏からのバスツアーや宿泊付きの開催も行うことができます。

【モンベル・アウトドア・チャレンジの特徴】

- ・ 幅広いコースと対象者
初心者でも気軽に楽しめる体験イベントから、上級者向けの本格コースまで、行きたいコースや体力レベルに合わせて、参加イベントを選択することができます。
(参加平均年齢：30代後半／参加男女比(全体) 男性4：女性6)
- ・ 少人数制で安心・安全な開催
スタッフが参加者に丁寧な対応ができるよう、原則として少人数制を採用し、アットホームな雰囲気ですアウトドアフィールドの紹介を行います。

【モンベル・アウトドア・チャレンジの開催により期待される効果】

- ・ 地元フィールドの PR
奥越エリアの自然や文化、人の魅力を直接告知・紹介ができます。
- ・ 来訪者の増加・リピーターの獲得
地元の自然を熟知し、地元を愛する方が参加者を直接案内することで、地域の歴史・文化や魅力への理解が深まり、参加者のリピートが期待できます。
- ・ 観光消費の増加
インストラクター・ガイドが随行し、ガイド料金を設定したプログラムを展開することで、アウトドア・アクティビティを通じた観光消費の増加につながります。

【モンベル・アウトドア・チャレンジ 開催案】 *：過去に開催実績あり

- ・ トレッキング 荒島岳*／経ヶ岳／赤兎山／刈込池*
- ・ カヤック 九頭竜湖*
- ・ 自然観察 六呂師高原（バードウォッチング・星空観察）
- ・ キャンプ 六呂師高原（キャンプ体験）
- ・ スノーシュー 六呂師高原（スノーシュー散策）
- ・ サイクリング ジャパンエコトラックルートを使ったサイクリングイベント

2. 2. 自然資源の価値や楽しみ方を伝えるインストラクター・ガイドの育成

アウトドアに関連した主なガイド資格制度

- ・ 安全なアウトドア・アクティビティの提供や、初心者・未経験者でもアウトドアを楽しめる環境整備を行うため、各分野の団体等と連携したインストラクター・ガイドの育成を検討します。

<アウトドア・アクティビティにおける主なガイド資格制度>

アクティビティ	資格	実施者
登山	山岳ガイド、登山ガイド、自然ガイド、スキーガイド	日本山岳ガイド協会
	アルパイン・ガイド アスピラント・ガイド マウンテン・ガイド	日本アルパインガイド協会
自転車	サイクリングガイド	日本サイクリングガイド協会
カヌー・カヤック	JRCA	日本レクリエーショナルカヤック協会
自然観察	自然観察指導員	日本自然保護協会
星空観察	星空ソムリエ	星空案内人資格認定制度運営機構
野外救急	WFA／ウィルダネス ファースト エイド	ウィルダネス メディカル アソシエイツ ジャパン

3. アウトドアを中心とした誘客のモデルコース（例）

（1） アウトドア層向け

① 登山

【テーマ】 奥越の名山を登山で満喫

【概要】

- ・ 雪解け後の夏山登山シーズンをメインに、登山ユーザーが奥越の山々を満喫できるモデルコースです。
- ・ 初日は、六呂師高原を散策し、自然保護センターで奥越エリアの自然環境について学びます。2日目には、距離の長い荒島岳や三ノ峰・別山、経ヶ岳を登山します。3日目には、半日で登れる赤兎山や刈込池散策を設定します。

【時期】 初夏（雪解け後）～秋 / 6月～10月

【コース】

<1日目>

内容	場所	所要時間
	↓（車移動）	—
食材調達	道の駅越前おおの荒島の郷	1:00
	↓（車移動）	0:15
六呂師高原散策	ミルク工房～妻平湿原～自然保護センター～池ヶ原湿原	3:00
入浴／宿泊	トロン温浴施設うらら館／六呂師高原キャンプ場・コテージ	—

<2日目>

内容	場所	所要時間
	↓（車移動）	1:00
登山	荒島岳 または 三ノ峰・別山 または 経ヶ岳	7:00～11:00
	↓（車移動）	1:00
入浴／宿泊	トロン温浴施設うらら館／六呂師高原キャンプ場・コテージ	—

<3日目>

内容	場所	所要時間
	↓（車移動）	1:00
登山／トレッキング	赤兎山 または 刈込池	3:00～4:00
	↓（車移動）	1:00
昼食／買い物	道の駅越前おおの荒島の郷	1:00

② サイクリング

【テーマ】 岐阜～福井～石川の3県を跨ぐロングライド

【概要】

- ・ 初日は、岐阜県郡上市の美濃白鳥駅（長良川鉄道）まで輪行で移動し、油坂峠、九頭竜湖、九頭竜溪谷を經由して六呂師高原に入ります。2日目は、道の駅越前おおの荒島の郷を起点に奥越エリア全体を周遊します。3日目は、県境の峠を越えて石川県に入る等、3県をまたぎ山岳地帯を越えるダイナミックなサイクリングプランです。

【時期】 春・秋 / 4~6月、10~11月

【コース】

<1日目>

ジャパンエコトラック「大野～美濃白鳥サイクリングルート（今後の拡充案ルート）」

内容	場所	所要時間
集合	美濃白鳥駅（輪行）（郡上市）	7:00
	↓（サイクリング）	
昼食	道の駅九頭竜	
	↓（サイクリング）	
食材調達	道の駅越前おおの荒島の郷	1:00
	↓（サイクリング）	0:40
入浴／宿泊	トロン温浴施設うらら館／六呂師高原キャンプ場・コテージ	—

<2日目>

ジャパンエコトラック「奥越周遊サイクリングルート」

内容	場所	所要時間
奥越周遊サイクリングルート ※各所で観光・食事		6:00
	↓（サイクリング）	
食材調達	道の駅越前おおの荒島の郷	1:00
	↓（サイクリング）	0:40
入浴／宿泊	トロン温浴施設うらら館／六呂師高原キャンプ場・コテージ	—

<3日目>

ジャパンエコトラック「大野・勝山～白山サイクリングルート（今後の拡充案ルート）」

内容	場所	所要時間
大野・勝山～白山サイクリングルート ※各所で観光・食事		10:00
	↓（サイクリング）	
解散	鶴来駅（白山市）	—

(2) ファミリー層向け

① 夏のファミリーアウトドアプラン

【テーマ】 ファミリーで夏休み、アウトドア（キャンプ・カヤック）・恐竜体験

【概要】

- ・ ファミリーに人気の恐竜博物館と奥越エリアで体験できるアウトドア・アクティビティ（六呂師高原でのキャンプ、九頭竜湖でのカヤック）を組み合わせたプランです。

【時期】 夏

【コース】

<1日目>

内容	場所	所要時間
	↓（車移動）	—
見学／体験	恐竜博物館	3:00
	↓（車移動）	0:30
食材調達／昼食	道の駅越前おおの荒島の郷	1:00
	↓（車移動）	0:15
六呂師高原散策	ミルク工房～妻平湿原～自然保護センター～池ヶ原湿原	3:00
入浴／宿泊	トロン温浴施設うらら館／六呂師高原キャンプ場・コテージ	—

<2日目>

内容	場所	所要時間
	↓（車移動）	0:30
カヤック	九頭竜湖	3:00
	↓（車移動）	0:15
昼食	道の駅九頭竜	1:00
	↓（車移動）	0:15
化石発掘	化石発掘体験センター HOROSSA！	2:00

② 春・秋のファミリーアウトドアプラン

【テーマ】 ファミリーでキャンプ・恐竜・ツリーピクニックアドベンチャー体験

【概要】

- ・ ファミリーに人気の恐竜博物館、六呂師高原でのキャンプ、池田町でのツリーピクニックアドベンチャーを組み合わせた奥越エリアの自然満喫プランです。

【時期】 春、秋

【コース】

<1日目>

内容	場所	所要時間
	↓ (車移動)	—
見学／体験	恐竜博物館	3:00
	↓ (車移動)	0:30
食材調達／昼食	道の駅越前おおの荒島の郷	1:00
	↓ (車移動)	0:15
六呂師高原散策	ミルク工房～妻平湿原～自然保護センター～池ヶ原湿原	3:00
入浴／宿泊	トロン温浴施設うらら館／六呂師高原キャンプ場・コテージ	—

<2日目>

内容	場所	所要時間
	↓ (車移動)	1:00
自然体験	ツリーピクニックアドベンチャーいけだ、かずら橋見学	4:00

③ 冬のファミリーアウトドアプラン

【テーマ】 ファミリーで雪遊び体験

【概要】

- ・ 気軽に冬のアウトドア・アクティビティと観光を楽しめるプランです。

【時期】 冬（積雪期）

【コース】

<1日目>

内容	場所	所要時間
	↓（車移動）	—
食材調達／昼食	道の駅越前おおの荒島の郷	1:00
	↓（車移動）	0:15
スノーシュー	六呂師高原	2:00
入浴／宿泊	トロン温浴施設うらら館／六呂師高原キャンプ場・コテージ	—

<2日目>

内容	場所	所要時間
	↓（車移動）	0:40
スキー	九頭竜スキー場	5:00
	↓（車移動）	0:20
買い物	道の駅九頭竜	0:30

(3) アクティブシニア層向け

【テーマ】大野の歴史文化と大自然を満喫

【概要】

- ・ 大野の歴史・文化の体験と、自然資源を活用した軽いアウトドア・アクティビティを盛り込み、アクティブシニア層が満足できる内容です。

【時期】初夏・秋

【コース】

<1日目>

内容	場所	所要時間
	↓ (車移動)	—
見学／体験	宝慶寺	2:00
	↓ (車移動)	0:40
入浴／宿泊／食事	トロン温浴施設うらら館／六呂師高原コテージ／ミルク工房	—

<2日目>

内容	場所	所要時間
六呂師高原散策	ミルク工房～妻平湿原～自然保護センター～池ヶ原湿原	3:00
	↓ (車移動)	0:15
昼食	道の駅越前おおの荒島の郷	1:00
	↓ (車移動)	0:40
トレッキング	刈込池	3:00
	↓ (車移動)	1:00
入浴／宿泊	トロン温浴施設うらら館／六呂師高原コテージ	—

<3日目>

内容	場所	所要時間
	↓ (車移動)	0:30
市内散策／食事	大野市街 (越前大野城、武家屋敷、七間朝市、寺町通り等)	3:00

第5章 事業の推進計画

1. 事業目標

<六呂師高原活性化 今後の事業目標>

	現状（令和元年）	目標値（令和8年）
六呂師高原 観光客入込数（延べ）	18.6万人	28.0万人
県内客	（8割）14.9万人	（6割）16.8万人
県外客	（2割）3.7万人	（4割）11.2万人

- ・ これまでのスキー場を中心とした誘客から転換し、新たな誘客の柱となる拠点施設の整備や周辺施設のリニューアル等を進め、過去の最盛期の入込数を超える水準を目標値に設定します。
- ・ 拠点施設の整備やアウトドア・アクティビティの充実に加え、近隣県と連携した教育旅行の誘致・県外への情報発信等を強化し、観光客入込数に占める県外比率の向上と観光消費額の拡大を推進します。

（令和2年は新型コロナウイルス感染拡大の防止措置をとったため、現状値には令和元年分を使用）

2. 事業スケジュール

(1) 主なハード事業

	令和 4～5 年度 (北陸新幹線開業まで)	令和 6～7 年度 (中縦道開通まで)
誘客の柱となる拠点施設の整備 (オートキャンプ場・コテージ等)	● → 各種設計・調査 整備工事	● → 整備工事 等
フィールドアスレチック・ マウンテンバイク道等の アウトドアフィールドの整備		
既存施設のリニューアル・ 魅力向上		
解体対象となる施設の撤去	● → 施設の解体	

一部
プレ
オープン
検討

オープン

- ・ 北陸新幹線福井・敦賀開業時においては、高原景観の改善（解体対象施設の撤去）に加え、整備・リニューアルする施設の一部プレオープンも検討します。
- ・ 中部縦貫自動車道県内全線開通時においては、六呂師高原全体の再整備完了を目指します。

<概算整備費（ハード事業）>

合計：約 35～40 億円〔民間投資額（想定）を含む〕

（内訳：施設の新設・リニューアル 約 30～35 億円、施設の解体 約 5 億円）

※ 今後の関係事業者との協議や各施設の詳細設計等により変動の可能性あり

(2) 主なソフト事業

	令和 4～5 年度 (北陸新幹線開業まで)	令和 6～7 年度 (中縦道開通まで)
「日本一綺麗」な星空観光 の推進	●————→ ・星空保護区の認定促進 ・星空観光メニュー造成	●————→ ・宿泊セットの星空観光 プログラムの展開拡充
六呂師高原固有の自然資源を 活用したアクティビティの拡充	●————→ ・新スノーアクティビティ造成 ・牧場、自然散策メニュー造成 ・音楽フェス等の誘客イベント検討	●————→ ・アスレチック、マウンテ ンバイク等を活用した アクティビティ展開
道の駅越前おおの荒島の郷を 起点にしたアウトドア観光の展開	●————→ ・アウトドアガイドの育成 ・アウトドアの受入環境整備	●————→ ・ジャパンエコトラック の登録ルート拡充